

サイドビュー X線検査機

X-ray Inspection System



XR75
Side View

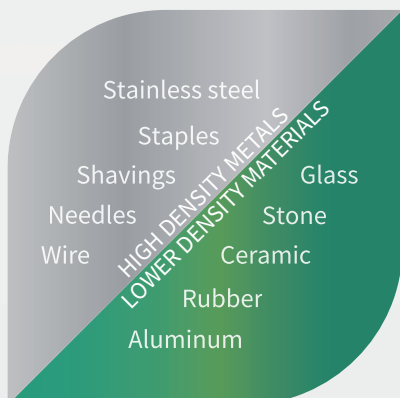
ワールドクラスの検出感度

ボトル容器を始めとしたスタンディング製品に対して、横からX線を照射することにより高感度検査を実現

ペットボトルや紙パック、スタンドパウチ、カップなどの縦型製品に特化したX線ユニットを搭載することで、ラインレイアウトや製品投入向きを変えることなく検査可能です。

X線検査機だからできること

XR75シリーズで培った異物検出技術により、金属検出機では検査できない非金属異物も検出可能です。



直観的な操作性



ペットボトル入り飲料
X線透過画像と射影モニタ(検出信号をグラフ化したもの)を同時に表示して確認でき、検出リミット値の調整なども簡単に行えます。

異物検出事例

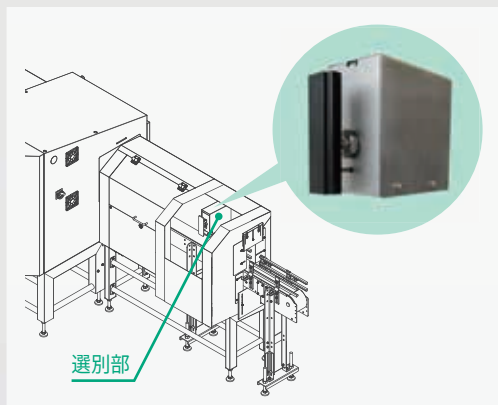
ペットボトル入り飲料



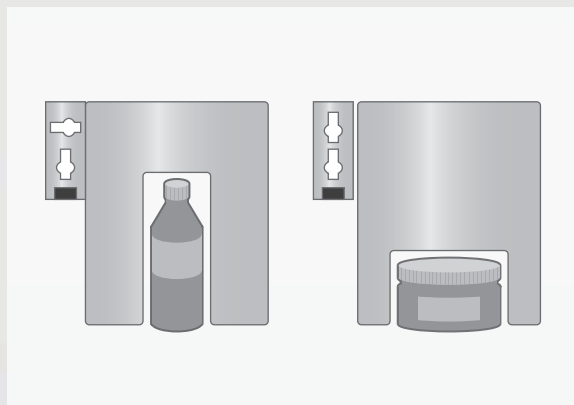
コンポジット缶入りポテトチップス



ペットボトル入りケチャップ



プッシャ選別部(オプション)



切欠きの角度によって選択された品種が正しいか監視することができます。



COMPOSITE CANS



GABLE TOP BAGS



STANDUP POUCHES



CUPS



PET BOTTLES



GABLE TOP CARTONS



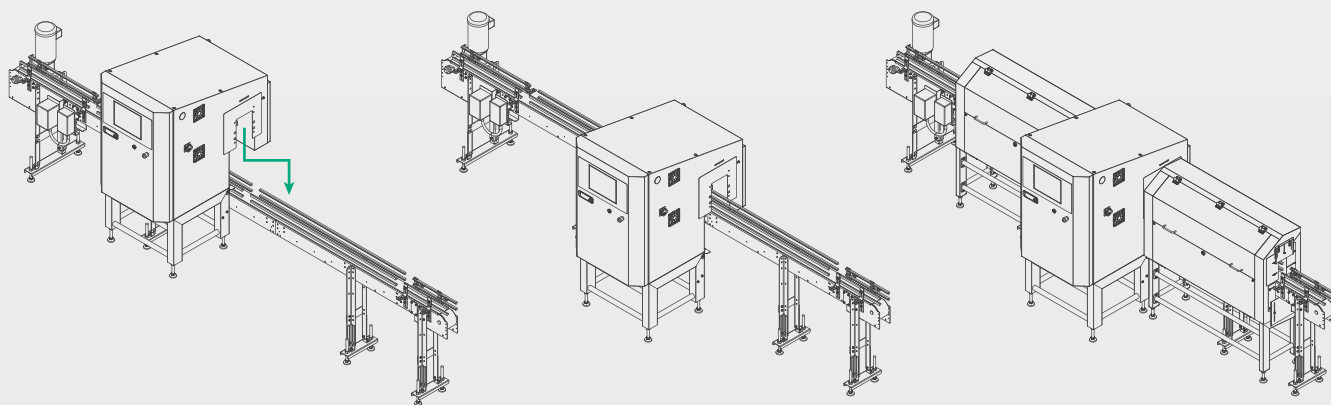
ASEPTIC BOXES

簡易設置・操作・保守

従来機と異なり、お客様のコンベアにかぶせるように設置するので、現在のラインレイアウトを崩しません。また、X線漏洩防止カーテンを持たないため、製品の転倒、詰まりのリスクがありません。



装置導入事例



既存コンベアの上からX線検査機本体とX線漏洩防止カバーをかぶせるように設置します。

※既存のコンベア形状によって左右のカバーは都度設計となります。

お客様のための装置仕様と機能性

- オートチェッカ、金属検出機のプラットフォームと共通化することで、ウィザード機能のついた品種登録、パラメータ設定が利用でき、誰でも安心してご使用できます。
- アンリツの生産管理ソフト“QUICCA”と接続することで、日々の生産数や稼働時間を記録し、さらに製品の良品・不良品カウントや透過画像保存などができます。
- 24時間サポートサービスでは、サービスエンジニアがお電話にて対応します。パラメータ設定など比較的簡単なトラブルは、すぐに解消できます。

XR75 Side View

オペレータへの影響を第一に考慮した、X線の漏洩防止設計。

随所に安全装置を設けることにより、作業するオペレータはX線の影響を受ける心配がなく、特別な資格も不要。安心して取り扱いができます。

5つの安全機構

X線照射ON/OFFキー

キーをOFFにすることにより、X線の照射は完全に止まります。

非常停止スイッチ

スイッチを押すと供給電源は切れ、X線の照射は完全に止まります。

X線照射表示

X線照射中、ランプが点灯します。

サイドカバー開閉装置

カバーを開くとX線の照射は完全に止まります。

手挿入監視センサ

手挿入などで一定時間センサが遮断された場合、X線照射が止まります。

安全管理項目

X線検査機は、「電離放射線障害防止規則」に基づいた安全対策を施しておりますが、より安全にお使いいただくために、次の安全管理の実行が必要です。

① X線検査機の定期的な漏洩X線量の測定と記録保管

漏洩X線量測定サービスを含む年間保守契約をご利用願います。

③ X線検査機の安全対策

被検査品の形状やラインレイアウトによっては、X線漏洩防止カバーの形状を変更する必要があります。

② X線検査機オペレータの作業時間管理

④ X線検査機と前後装置の分解/改造の禁止

本機は、電離放射線障害防止規則に基づいて安全設計されております。本体、カバー、X線漏洩防止カーテン、安全カバー、安全インターロックなどの改造、取りはずしは絶対に行わないでください。

X線の安全性と法規制について

1) 被検査品に対する安全性

- 食品衛生法関連法規で定められている食品へのX線照射量は、0.1 Gy以下です。この規定値は、食品の品質を変化させないためのものです。
- WHOは1980年に、「10 kGy以下の放射線を照射した食品は、毒性、栄養学的、微生物学的にも問題がない」と、結論を出しています。

当社のX線異物検出機では、被検査品に照射される最大X線量は0.002 Gyです。この数値は左記の食品衛生法関連法規およびWHOの結論よりも大幅に下回っています。被検査品がX線の照射時に滞留した場合でも0.1 Gy以下でX線を停止させます。

2) 人に対する安全性

- 電離放射線障害防止規則によれば、3月間で1.3mSvを超えるX線漏洩がある場合、管理区域の設定および作業主任者の選定が必要です。注)管理区域の設定のために測定を行う場合の1週間の労働時間については、管理区域の施設、装置などの使用時間または滞在時間が社内規定で明文化されている場合などであれば、1週間の当該使用時間または滞在時間をもって、当該管理区域における1週間の労働時間とすることができます。

当社のX線異物検出機では、漏洩X線量:1μSv/h以下です。下記(例)の場合1.3mSv/3カ月間を下回るため、管理区域の認定・作業主任者の選定は不要になります。

(例)3カ月間の漏洩X線量計算例

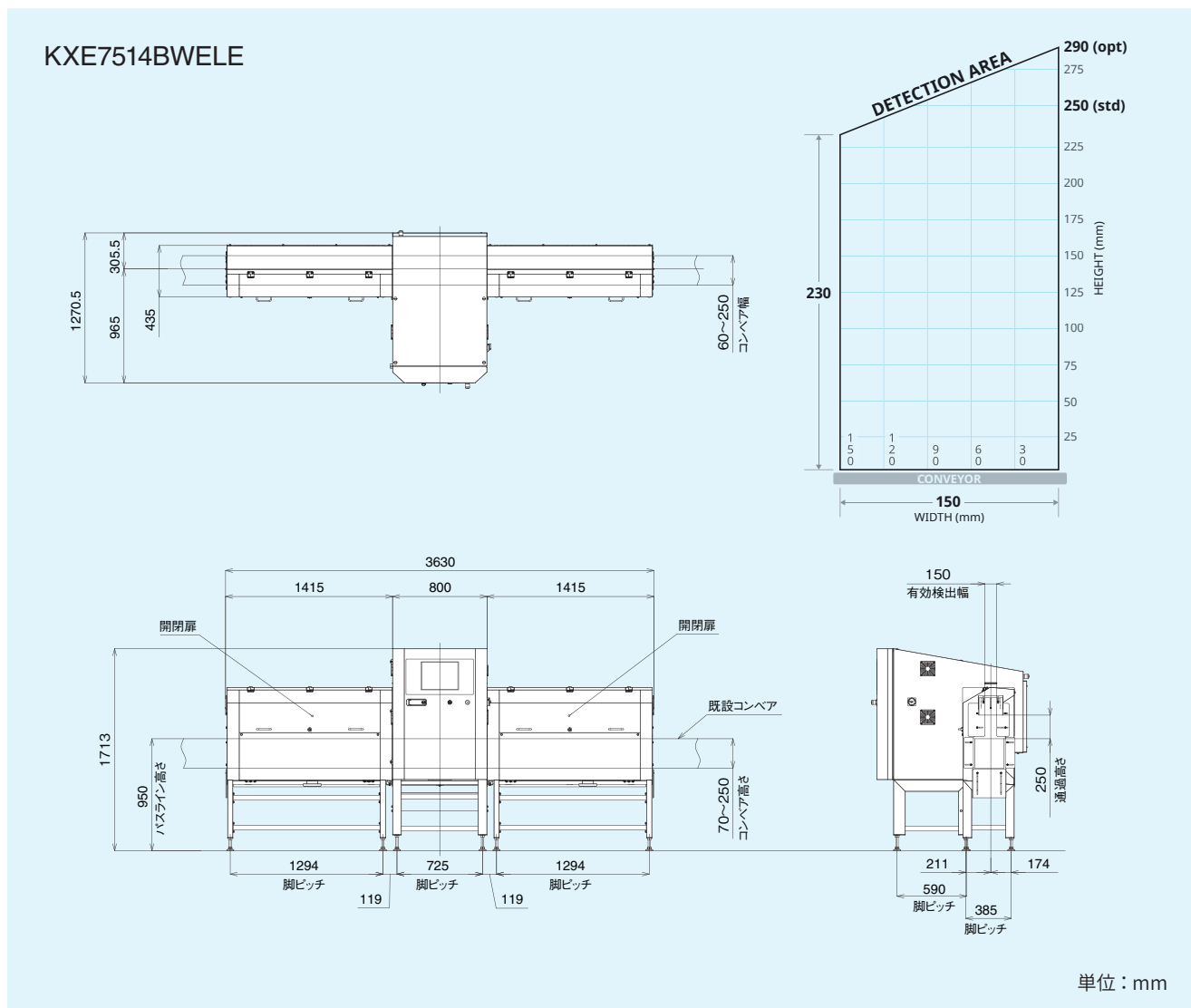
同一作業者が1日:10時間 1週間:5日作業した場合(3カ月:13週にて計算)
 $1\mu\text{Sv/h} \times 10\text{時間} \times 5\text{日} \times 13\text{週} = 0.65\text{mSv/3カ月}$

注)機器を使用する事業者は、X線装置設置工事の30日前までに、その計画を管轄の労働基準監督署長へ届出する必要があります。

主な仕様

XR75 Side View

外観図



※本外観図は参考外観図です。本装置はコンベア部を持たないため、お客様の設置場所によってカバーの形状は都度変更となります。

規格



形名	KXE7514BWELE
X線出力	管電圧 30~80 kV、管電流 0.4~5.0 mA、出力 12~150 W
安全性	1.0 μ Sv/h以下 安全装置によるX線漏洩防止
表示方式	15インチ TFT 液晶
操作方式	タッチパネル(タッチブザー付)
検査可能範囲 ^{注1}	最大幅 150 mm 最大高さ 250 mm (290 mm：オプション)
品種数	200 品種
対応ベルト速度	10~120 m/min
電源／消費電力 ^{注2}	100 VAC ~240 VAC、単相、50/60 Hz、700 VA 以下
質量 ^{注3}	540 kg
使用環境	0℃~35℃ 相対湿度30%~85%、ただし結露しないこと
保護等級	検査エリア：IP66 準拠 検査エリア以外：IP40 準拠
外装	ステンレススチール

注1) 被検査品寸法は、検査可能範囲を下回るようにしてください。

注2) 許容電圧変動範囲は±10%以内です。

注3) オプションなし、ストレート延長カバー付(上記参考外観図)の状態の質量です。



アンリツインフィビス株式会社 <https://www.anritsu.com/infivis>

お問合せ先は  **0120-737-229** (携帯電話、PHSからつながります)

本社	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名 5-1-1	TEL:046-296-6700 (代)
北海道支店	〒060-0042 札幌市中央区大通西5-8 昭和ビル	TEL:011-231-6201 FAX:011-231-6203
東北支店	〒981-3112 仙台市泉区八乙女2-11-2	TEL:022-772-6685 FAX:022-772-6687
盛岡営業所	〒028-3614 岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田4-74-11	TEL:019-656-8816 FAX:019-656-8817
関東支店	〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア	TEL:03-6715-8789 FAX:03-6715-8701
神奈川営業所	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1	TEL:046-296-6722 FAX:046-225-8355
さいたま営業所	〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-62-1 ワコーレ大宮ビルⅡ	TEL:048-649-4045 FAX:048-647-1303
東関東営業所	〒277-0011 柏市東上町2-28 第2水戸屋ビル	TEL:04-7128-7781 FAX:04-7164-0811
北関東営業所	〒370-0841 高崎市栄町4-11 原地所第2ビル	TEL:027-327-2411 FAX:027-326-6922
新潟営業所	〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-63 マルヤマビル	TEL:025-243-4750 FAX:025-241-9428
長野営業所	〒380-0813 長野市鶴賀1403 大通り昭和ビル6F	TEL:026-238-7004 FAX:026-232-6014
中部支店	〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング3F	TEL:052-950-7861 FAX:052-954-8021
静岡営業所	〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6 大同生命静岡ビル	TEL:054-255-8650 FAX:054-255-8633
関西支店	〒532-0005 大阪市淀川区三国本町1-10-31	TEL:06-6391-5202 FAX:06-6391-5211
四国営業所	〒760-0078 高松市今里町1-9-18	TEL:087-861-3183 FAX:087-862-8350
中国営業所	〒733-0842 広島市西区井口5-20-12 和田ビル102号	TEL:082-270-2763 FAX:082-278-2660
九州支店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30	TEL:092-471-7666 FAX:092-481-5709
海外営業部	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1	TEL:046-296-6699 FAX:046-296-6786

© ANRITSU INFIVIS CO., LTD. 2018

ISO14001 認証取得 JQA-EM0210
ISO9001 認証取得 JQA-0316

【中国】Anritsu Industrial Solutions (Shanghai) Co., Ltd.
3F, No.55, Lane 1505, Zuchongzhi Road, Zhangjiang Hi-tech Park,
Pudong New Area, Shanghai 201203, P.R.China
TEL: +86-21-5046-3066 FAX: +86-21-5046-3068

【タイ】ANRITSU INFIVIS (THAILAND) CO., LTD.
700/678 Moo 1, Amata Nakorn Industrial Estate,
T. Pangthong A. Pangthong Chonburi Province Thailand 20160
TEL: +66 38-447180 FAX: +66 38-447182

【イギリス】ANRITSU INFIVIS LTD.
Unit 3, Scott Road, Luton, LU3 3BF, United Kingdom
TEL: +44 (0)845 539 9729

【アメリカ】ANRITSU INFIVIS INC.
1001 Cambridge Drive, Elk Grove Village, IL 60007-2453, U.S.A.
TEL: +1-847-419-9729 FAX: +1-847-537-8266

- ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 日常点検の他に、1年に1度の保守点検を実施願います。
- 本製品は国内用です。輸出する場合は日本国政府の輸出許可が必要です。輸出の際には必ず営業までご連絡ください。

- 記載事項はおことわりなしに変更することがあります。
- 製品写真の形状が一部異なる場合があります。
- 許可なしに本カタログの一部または全部を転載することを禁じます。